

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度第4回保倉区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

- ・安全・安心なまちづくりの推進について（公開）
- ・地域協議会活動報告会について（公開）

## 3 開催日時

令和6年2月1日（木）午後6時00分から午後7時10分

## 4 開催場所

上越市立保倉地区公民館 研修室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 池田つえ子（副会長）、今井二三夫、荻原輝義、笠原純一、河瀬青志、  
佐野 宏、中島幸夫、平原 保、宮崎邦夫、山本 均（欠席者2名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、小川係長、丸山主任

## 8 発言の内容

### 【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【池田副会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：宮崎委員、山本委員に依頼

議題【協議事項】安全・安心なまちづくりの推進について、事務局へ説明を求める。

### 【丸山主任】

・資料No.1「第3回地域協議会での主な意見（まとめ）」に基づき説明

**【池田副会長】**

今ほどの事務局の説明について、または、1月1日の能登半島地震を経験し、当日の避難などの対応状況なども踏まえ、質問、意見を求める。

**【佐野宏委員】**

災害発生時の初動対応について、今事務局から説明があったように市の資料には記載がある。今回は津波も発生したが、市として、今回の災害を踏まえ見直しが行われると思う。津波が来た場合は高台に逃げると言われるが、実際は難しいと思う。津波は早いから高台に逃げられないし、今回のように冬場で寒い場合や、高齢で歩いて避難できない場合は、車でなければ逃げられない。実際私は車で避難してみた。大島線で青野まで行ったが、早く出たので道路は空いていた。時間が経ってからは浦川原方面の道が渋滞していった。その後、孫を預かっていたので新井まで連れて行かなければいけないということで、今度は国道18号線を走ったら渋滞になっていた。

保倉地区での初動対応と書いてあるが、市として、今後、様々な情報を集めると思うが、スケジュールを含めて今後どのような対応をされるかお聞きしたい。

**【佐藤所長】**

1月1日の地震によって津波が起きた。今日で地震から1ヶ月が経ったが、現在も震災の被害について対応している最中であり、これから計画がまた見直されていくと事務局としては思っているが、今のところそのスケジュールについては、把握していない。

**【池田副会長】**

保倉地区だけではなく、他の地域の避難状況などが一か月も経つと、情報が入ってくると思うが、有田小学校に避難された方から、有田小学校では地区ごとに部屋割りされていて、2階3階に当たった方はスムーズに避難されたが、体育館を指定された方は、津波が来たら1階では避けられないからと、家にいるのと変わらないので、「もう来ない」という話を聞いた。

私の住む上名柄も保倉小学校が避難所に指定されているが、学校まで歩いていったとしても、近くに桑曾根川があり、避難所としてどうなのかというのは、正直本当に地震がまたすぐ来るか分からない中では、不安がある。そのような話を聞いたことはないか。

**【佐野宏委員】**

地震などの災害というのは、いつくるか分からない。だから、今なのではないか。今、

池田副会長が言うように、記憶のあるうち、記憶が生々しいときに、聞き取りをしなければならぬのではないかと。もう1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月と経ってから状況を聞いても、記憶は消えてしまう。だから、事務局は「把握していない」と答えられたが、そうではない。今、記憶が生々しいときに、どのように避難したとか、どのような状況だったか、避難したときどういう問題があったかを聞き取るべきではないか。必ず地震はまた来る。それで、聞き取りを行って100パーセント完全ではなくても対応策を素早く作っていただければ、子ども地区でも町内で避難訓練などの際に話ができる。検討するとかそういう言葉を使わず、すぐに取り組んでいただきたい。

#### 【今井委員】

1日の地震のとき、私は町内の人全員に電話をかけて避難してくださいと伝えた。

すぐに避難してください、何があっても避難してくださいと伝えたが、ほとんどの人から「ここまで津波は絶対来ないから避難する必要はない」と言われた。この辺の人では1軒だけ三和区の方へ避難した。私も三和区の岡田の山の上に避難した。町内の人は避難する意識はほとんどない。避難したのは、町内で2軒だけ。

もしものときには保倉小学校の屋上の方へ避難することとなっているが、避難するという意識を持っていただきたい。

#### 【池田副会長】

他に意見はないか。

保倉区は川のある地区と川の無い地区に分かれる。川が近くになれば現実味に差が生じるのではないかと。水害に関しては、私の地区は敏感だと思うが、上名柄でもやはり背後に川がある地区と、道を挟んだ反対側では、話題に上るかにも違いがある。また、テレビを見ていて思うが、避難所について、それこそ避難してから、食事、トイレ、着替えの心配など、すごく今苦労されている様子を見るが、実際に、洪水であれ地震であれ、避難を地区ごとにしたとして、避難所がすぐに開設されるかも分からない中、やはり自分の家の人数分くらいは3日から5日分くらい、食料品や着替えを用意しておかなければいけないのではないかと。中越地震のときに避難袋を2つ作ったが、時間が経っているので夏物が入っているのか冬物が入っているのか分からなくなり、先日確認した。すぐ支援が届くかということは難しい話だと感じたので皆さんも気をつけていただきたい。

他にご意見を求めるがなし。

次に【協議事項】地域協議会活動報告会について、事務局から説明を求める。

【丸山主任】

・資料No.2「保倉区地域協議会活動報告会」及び「保倉区地域協議会第4期活動報告(案)」に基づき説明

【池田副会長】

ただいまの説明について、意見、質問を求める。

【今井委員】

来期の地域協議会委員を今後募集するという中で、活動報告会を開催するということが、以前、4年前に、長岡新田を代表して私に出てくれと町内会から2名来て言われた経緯がある。現在の委員の人数は12名だが、今度の委員の人数は何人で、どのような方法で募集するのか。ただ公募では、ほとんどゼロとなるのではないか。だから、前回のようによこの地区で1名、よこの地区で1名などの方法は行わないのか。

【丸山主任】

地域協議会委員の定数は、市の条例により各地区で定めており、保倉区においては12人が定数となっている。これは来期においても同じである。

次に地域協議会委員のなり手に関しては、基本的に公募で手を挙げていただいて、地域を良くしたいと思う方から参加していただくこととなっている。ただ、公募をして、市の方で選任という形で担っていただくというのが、表向きとなっているが、上越市には28の地域自治区がある中、実際のところ各地域でそれぞれどのような形で委員になっていただくかということについては、地域ごとにそれぞれの考え方があると思う。

自ら応募してくださる方が多い地区もあれば、各町内会などで割り当てなどという形でやっているところなどもあるかとは思いますが、市としては、どのようにというところまでは助言はできないので、それはまた地域の中で、どのような人から地域協議会の場に出てきていただいて、地域をよくする、そういった話し合いをすればいいのかというのが、また改めて話し合っただけならばと考えている。

【池田副会長】

他に意見を求める。

【山本委員】

このように、委員の募集を行うということは、また、来期も地域協議会を継続することが市の方向性ということによろしいか。

**【丸山主任】**

地域協議会については来期も継続することとしている。

**【山本委員】**

市長の方向性は違うような気もするが、その辺は関係ないか。このまま継続で進んでいくという解釈でよろしいか。

**【佐藤所長】**

市長の方向性というのが、どのようなことを言われているか定かでないが、市長との話し合いの中で、来期も地域協議会は募集させていただくということは確認しているので、第5期が今後始まるということで、ご理解いただきたい。

**【山本委員】**

来期の地域協議会は今年度のような形を継続すると考えているのか。

**【佐藤所長】**

令和5年度は地域活動支援事業がなくなり、地域独自の予算が始まった。今までは地域活動支援事業の審査を、委員の皆様をお願いしてきたが、これが終了し、地域独自の予算は、団体が市へ提案するものとして動き始めた。そもそもの地域協議会の本来の役割は、自主的審議事項として地域の課題や問題などを皆さんで話し合っ、それを市長へ書面で提出するというようなものが1つ、それから、例えば公の施設の設置や廃止について市から諮問を受け、答申するというのも地域協議会の役割である。

そちらに時間をかけていただきたいということで、令和5年度は進めていただいたが、来年度もこのような役割を継続する予定としている。

**【池田副会長】**

次に、その他について事務局へ説明を求める。

**【丸山主任】**

地域協議会活動報告会は、2月22日（木）を予定している。当日、都合により欠席する場合は、前日までに事務局へ連絡していただきたい。当日は、活動報告会終了後、令和6年度の地域独自の予算事業に関する議会への提案状況について情報提供させていただく。

次に、今期の活動について、保倉区地域協議会の今期の活動は、2月22日の地域協議会活動報告会をもって終了とさせていただきたいと考えている。なお、市関係課から報告・諮問事項があった場合は、招集させていただくこともあるのでご承知おきいただ

きたい。

【池田副会長】

今ほどの事務局の説明について、活動報告会、今期の活動についてはそのように進めることとしてよいか。

(賛同の声)

他に意見を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。